

株式会社 日高振興公社

決算書類

第27期

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日

## 株式会社 日高振興公社 第27期 事業報告

### 1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済をみると、新型コロナウイルス感染症に伴う、緊急事態宣言を受け、兵庫県は4月7日から5月21日、1月14日から2月28日の2回発出しました。時短営業や休業要請、不要不急の外出を控えるなどの自粛要請により、経済全体に深刻な影響を与えています。特に飲食店の倒産件数は2020年度で780件となり、事業の継続が難しくなっています。

また、但馬地域においては日高神鍋高原ICが延伸し、但馬空港ICが11月1日に開通しました。交通網の利便性により、観光活性化が期待されています。1月以降は3年ぶりのまとまった降雪により、神鍋高原スキー場は10万8千人(前年2万3千人)となり、賑わいを取り戻しました。ただし、昨年度以上に観光客は減少し、イベント自粛が追い打ちをかける中、行政の助成金・補助金等を活用し、感染症対策や経済支援クーポンで収益を補いながら1年を終えることが出来ました。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、神鍋高原のおみやげ開発などに取り組んで参りました。

従業員の職務能力向上を図るため、他府県の事業所訪問やコンサルタントの指導、地元企業・高校生との連携強化により、店舗展開(坪単価・客単価アップ)や「個性ある道の駅づくり」のための研修を行いました。

また、毎月開催している社員会議では、各部門ごとに経費実態・新規イベント計画・新商品開発・設備投資計画等、勉強会を適時実施しました。特に、本事業年度は新型コロナウイルス感染症対策を含めた危機管理マニュアルの新規作成及び講習会を開催し、異常事態・事故発生時等の対応についても全従業員で取り組みました。

#### ○来客数

道の駅「神鍋高原」	100,356人(前年度比:85% △17,473人)
神鍋温泉ゆとろぎ	54,024人(前年度比:82% △11,642人)

結果、当事業年度における業績は、

売上高	168,624千円(前年度比:93% △12,809千円)
営業利益	△7,069千円(前年度比:—% △2,733千円)
経常利益	3,592千円(前年度比:—% 6,787千円)
当期純利益	3,304千円(前年度比:—% 5,904千円)

(当期純利益 前年度:△2,600千円)となりました。

## (1) 道の駅「神鍋高原」

### ① 売店部門

当事業年度は新型コロナウイルス感染症対策関連商品の需要により、直売所の生産者による手作りマスクや携帯用スプレーボトルケース等が年間 4,504 千円売上げました。また、GoTo トラベルの地域共通クーポンや兵庫県温泉地お土産購入券、S T A Y 豊岡や豊岡市プレミアム付き応援商品券等、経済支援クーポンの利用が 19,014 千円となり、売店部門の売上全体の 17%を占めました。

新たな取り組みとして、9月からテイクアウトコーヒーや自宅用のコーヒー豆等の販売を開始し、売上金額 361 千円となりました。また、コロナ渦で在庫を抱えたお土産業者の応援セールを開催し、売上金額 813 千円となりました。

イベントでは6月の神鍋高原キャベツまつりは中止しましたが、8月の神鍋高原スイカまつりは縮小開催しました。また、新たなイベントとして、11月15日には第1回神鍋ねぎまつりを開催し、農産物の地域ブランド化に取り組みました。ねぎ年間販売数 6,666 個、売上金額 1,011 千円、昨年より販売数 1,443 個、売上金額 236 千円、前年比 31%増加しました。

さらに、下記の商品を道の駅「神鍋高原」でしか購入できない商品（PB 商品）と位置付け、他店舗との差別化を図りました。

○高校生商品	年間販売数： 3,049 個	売上金額： 1,295 千円
○よりどり 3 個セット	年間販売数： 1,113 個	売上金額： 1,113 千円
○キャベツチップ	年間販売数： 2,261 個	売上金額： 1,037 千円
○ほんまもん神鍋	年間販売数： 9,561 個	売上金額： 6,201 千円

### ② 飲食部門

毎年7月・8月に開催する「全但バス神鍋線利用促進イベント」の「神鍋 BeerNight」は今年で9年目を迎えました。全但バスと協議を重ね、感染症対策を行い、客数 319 名、売上金額 897 千円、バス乗客 176 名、昨年より客数 351 名、売上金額 936 千円、バス乗客 186 名減少となり、前年比 49%と激減しました。

平日の集客に向け、「但馬牛すじカレー」の販売を開始し、販売数量 872 食、売上金額 707 千円となり、人気商品として定番化しました。また、コロナ渦でのテイクアウト需要を見込み、新たに神鍋清流サーモンバーガーやお弁当、惣菜等を販売し、販売数量 1,837 食、売上金額 750 千円となりました。引き続き次年度に向け、平日の集客に繋がるメニュー開発を行っています。

土、日、祝日のランチビュッフェは中止期間が長く、8月から1月までの開催となりました。客数 5,799 名、売上金額 6,225 千円となり、昨年より客数 10,489 名、売上金額 10,944 千円減少となりました。

自粛ムードが続く中での飲食業の運営は大変難しく、休業要請や時短営業への対応、空気清浄機やアクリル板の設置等、感染症対策も重点的に行いました。集客が見込めない中で、メニュー構成や仕入れの見直し等、より効率的な運営に努めました。また、定期的な消毒・清掃等、点検日を設けることで衛生面にも目配りができる環境となっています。

## (2) 神鍋温泉ゆとろぎ

4月は但東チューリップまつりのチューリップ湯や12月のゆず湯など、地域連携による季節湯を実施し、見た目や香りも楽しんでいただけました。

本年度、スキー場は降雪により賑わい、「スキーリフト券利用者割引」の利用者は6,874名(前年比387%)と大きく増加しました。さらに継続事業のフォレストアドベンチャー奥神鍋(595名利用)、パラグライダースクール(45名利用)、但馬ドーム(141名利用)、全但バス神鍋線(141名利用)と提携した割引サービスは非常に効果がありました。

本年度の新たな取り組みとして、①苦情・相談・事故対応マニュアル作成、②入館制限や消毒液・空気清浄機の導入等の新型コロナウイルス感染症対策の実施、③UFOキャッチャー設置などを行いました。また、昨年度から取り組んでいる「入浴料とフェイスタオル、バスタオル」が付いた入浴セットの販売が好調で、年間1,386セット、売上金額1,507千円となり、定番化してきました。

毎週水曜日に定休日を設け、清掃・消毒等の衛生面、浴場や機械設備等の修繕工事を実施し、お客様に気持ちよく利用していただけるよう保守・維持管理を強化しました。

## 2 事業実績

### 売上高の推移

単位：千円

区 分	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期
売店部門	120,993	125,684	116,322	107,315	113,343
飲食部門	40,755	41,477	36,015	32,510	17,835
温泉部門	39,808	41,654	38,382	37,654	33,477
市受託料	4,077	4,026	4,006	3,954	3,969
合 計	205,633	212,841	194,725	181,433	168,624

### 営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期
経常利益	1,926	5,306	4,109	△3,195	3,592
当期純利益	1,715	5,094	3,898	△2,600	3,304
総資産	32,137	39,231	37,761	34,296	70,317
純資産	16,204	21,299	25,196	22,597	25,901

## 3 会社の概要

### (1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

### (2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

### (3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	岡 森 且 哉
専務取締役	久 田 喜三郎
取 締 役	岡 藤 泰 明
取 締 役	小 谷 士 郎
取 締 役	村 上 勝 幸
取 締 役	細 谷 文 夫
監 査 役	谷 口 雄 彦
監 査 役	玉 置 孝 至

### (4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社 員	5	男性 3 人、女性 2 人
パート	15	男性 2 人、女性 13 人
計	20	男性 5 人、女性 15 人

決 算 報 告 書

第 27 期

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

株式会社 日高振興公社

兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

# 貸借対照表

(単位：円)

株式会社 日高振興公社

令和 3年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 65,304,219】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 14,416,652】</b>
現金及び預金	59,877,024	買掛金	929,978
売掛金	2,137,648	受託未払金	3,346,790
商 品	403,060	未 払 金	7,414,081
原 材 料	580,615	預 り 金	52,903
貯 蔵 品	293,711	預 り 敷 金	100,000
未 収 入 金	2,012,161	法人税等充当金	289,700
<b>【固定資産】</b>	<b>【 5,013,035】</b>	未払消費税	2,283,200
(有形固定資産)	( 4,625,101)	<b>【固定負債】</b>	<b>【 30,000,000】</b>
建 物	3,048,313	長期借入金	30,000,000
建物付属設備	138,556	負債の部計	44,416,652
車両運搬具	2	純資産の部	
工具器具備品	1,438,230	<b>【株主資本】</b>	<b>【 25,900,602】</b>
(無形固定資産)	( 387,934)	[資 本 金]	[ 36,000,000]
ソフトウェア	387,934	[利益剰余金]	[ Δ10,099,398]
		利益準備金	9,000,000
		(その他利益剰余金)	( Δ19,099,398)
		繰越利益剰余金	Δ19,099,398
		(うち当期純利益)	( 3,304,001)
		純資産の部計	25,900,602
<b>資産の部計</b>	<b>70,317,254</b>	<b>負債・純資産の部計</b>	<b>70,317,254</b>

# 損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 3年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 店 売 上	113,343,610	
市事業委託料等	3,969,159	
レストラン売上	17,834,858	
温 泉 売 上	33,476,519	168,624,146
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	914,374	
仕 入 高	79,478,869	
材 料 費	7,449,690	
合 計	87,842,933	
期末棚卸高	983,675	86,859,258
売 上 総 利 益		81,764,888
【販売費及び一般管理費】		88,833,763
営 業 利 益		△7,068,875
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	555	
雑 収 入	10,664,901	10,665,456
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	5,000	5,000
経 常 利 益		3,591,581
税引前当期純利益		3,591,581
法人税等充当額		287,580
当 期 純 利 益		3,304,001



# 販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 3年 3月31日

科 目	金	額
役 員 報 酬	4,313,800	
給 料 手 当	32,669,371	
福 利 厚 生 費	6,086,814	
雑 給	5,805,077	
シルバー委託費	1,921,590	
広 告 宣 伝 費	1,780,517	
運 賃	49,070	
燃 料 費	4,708,101	
衛 生 費	6,135,083	
一括資産償却費	38,160	
水 道 光 熱 費	8,867,135	
会 議 費	120,534	
事 務 費	1,225,350	
消 耗 品 費	2,631,617	
地 代 家 賃	38,100	
支 払 保 険 料	427,190	
修 繕 費	1,814,232	
租 税 公 課	4,382,900	
減 価 償 却 費	1,354,491	
接 待 交 際 費	287,253	
旅 費 交 通 費	72,720	
通 信 費	418,067	
支 払 手 数 料	2,345,355	
賃 借 料	923,656	
諸 会 費	302,215	
購 読 費	49,582	
雑 費	65,783	
合 計		88,833,763

# 株主資本等変動計算書

株式会社 日高振興公社

自 令和 2年 4月 1日  
至 令和 3年 3月 31日

(単位：円)

	株 本			資 本			株 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本		資 本 合 計	利 益 剰 余 金		利 益 剰 余 金 合 計			
	資 本	剰 余 金		利 益 剰 余 金	剰 余 金				
当期首残高	36,000,000		36,000,000			36,000,000		36,000,000	
当期変動額									
当期純利益									
当期変動額合計									
当期末残高	36,000,000		36,000,000			36,000,000		36,000,000	

	利 益 剰 余 金 の 内 訳		利 益 剰 余 金 合 計
	繰 越 利 益 剰 余 金		
	利 益 準 備 金	利 益 剰 余 金	
当期首残高	9,000,000		9,000,000
当期変動額			
当期純利益			
当期変動額合計			
当期末残高	9,000,000		9,000,000

# 個 別 注 記 表

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 3年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 資産の評価基準及び評価方法

#### たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品・貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法

### 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …………… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に  
取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産 …………… 定額法

### 収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

### その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

## 2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …………… 36,835,843 円

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 720 株

当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

## 4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 35,973 円 05 銭

1株当たりの当期純利益 …………… 4,588 円 89 銭